One Osaka!
大阪維新の会
おおさかいしんのかい

めざせ！ One大阪
ISHIN TIMES
維新タイムズ
Vol.1
令和8年度

発行 大阪維新の会 大阪府議会議員団
http://osaka-ishin.jp/

〒540-8570
大阪市中央区大手前
2丁目1番22号（大阪府庁内）
TEL（06）6946−5390
FAX（06）6946−5391

大阪維新の会
大阪府議会議員
森田 彩音 の府政報告

警察危機管理常任委員会に所属する立場から、大阪の治安確保と秩序維持、そして国際都市「大阪」にふさわしいあり方の観点から、令和8年3月12日に以下の質問をさせていただきました。

❶イベント会場における迷惑行為について　❷若者の大麻乱用防止について
❸イジメに対する取組について　❹不法残留者ゼロを目指して
❺職務質問の技能向上に向けた取組について
❻被疑事実における外国人氏名表記について　❼外国免許切替について
❽放置自転車及び違法駐車に対する取組について
❾二輪者すり抜け運転について
❿若者の地域における防災活動について
⓫避難所運営会議への女性の参画について
⓬性犯罪・性暴力被害者の為のワンストップ支援センターについて

府政に関する相談やお問合せは
森田 彩音 事務所
〒537-0012 大阪市東成区大今里4-27-28　TEL/FAX（06）4259-3006
MAIL morita.ayane.ishin@gmail.com

森田彩音の一般質問（警察危機管理常任委員会 3月12日）

イベント会場における迷惑行為について

Q 近年、大阪府内では大規模イベントが増加し、高齢者や子ども連れを含む多くの来場者が訪れて、誰もが安心して参加できる環境整備が重要です。しかしながら、『拡声器の使用』や『プラカード』掲示などにより、進行の妨げや来場者の不安を招く事例も見受けられます。現行の「大阪府迷惑防止条例」による対応はあるものの、イベント妨害行為へのルールは必ずしも明確とは言えません。今後のIR開業や国際イベントの増加を見据え、秩序維持と安全確保の観点から、条例の運用状況を踏まえたルールの明確化や見直しについて、大阪府警の見解を伺います。

A 「大阪府迷惑防止条例」では、公共の場所における粗野・乱暴な行為を禁止しており、イベント会場に限らず適用されます。大声など一律規制は困難ですが、来場者に不安を与えたり混乱を招く行為については、個別具体的に同条例の適用を判断しています。該当しない場合でも、刑法や特別法の適用を検討し、違法行為には適切に対処します。
今後の制度整備については、必要に応じて大阪府の関係部局と連携し対応してまいります。

要望 事後対応にとどまらず、今からの検討を強くお願い申し上げます。イベント反対者が来場者を挑発し、その様子をSNSに投稿することで、個人が特定され、不安や被害が生じる事案も指摘されています。来場者が安心して参加できる環境を守るため、現代の状況に即した迷惑行為対策のあり方について検討し、大阪府迷惑防止条例の見直しを含めた新たなルール整備を進めていただくよう強く要望します。

不法残留者ゼロを目指して

Q 出入国在留管理庁が発表した「不法滞在者ゼロプラン」を踏まえ、不法滞在者に対する大阪府警察の取組について伺います。

A 大阪府警察では、大阪出入国在留管理局など関係機関と連携し、不法滞在者の検挙・摘発を推進しています。
あわせて、不法就労の取締りや雇用主の摘発、企業等への啓発活動にも取り組んでいます。
今後も関係機関と連携し、取締りの強化に努めてまいります。

職務質問の技能向上に向けた取組について

Q また、「不法滞在者ゼロプラン」を踏まえ、治安への影響が懸念される中、地域警察官による職務質問は犯罪抑止・検挙に有効と考えます。
そこで、職務質問技能の向上に向けた取組について伺います。

A 地域警察官は特定の外国人を対象とした職務質問は行っていません。
そのうえで、技能向上に向けて、ロールプレイング形式の巡回教養や同行指導、少人数の講習会などを実施しており、毎年約6割の地域警察官が受講しています。あわせて、各警察署でも指導員による教養を行い、技能向上に取り組んでいます。

要望 「職務質問講習会」などの教養を受講した地域警察官が6割以上にとどまっている現状については、一定の評価をしつつも、なお向上の余地があると感じております。
今後は、指導者育成の研修を一層充実させ、各警察署に卓越した技能と指導力を有する指導員を育成・配置することで、地域警察官全体の現場執行力のさらなる向上につなげていただきたいと考えます。
引き続き、安心・安全な大阪のまちづくりの推進に向け、より一層の取組をお願いいたします。

森田彩音の委員会質問（警察危機管理常任委員会　月　日）

1面のつづき

外国免許切替について

Q 昨年10月の制度見直しにより、外国免許切替手続では住所確認の厳格化や知識・技能審査の強化され、改正の概要と、改正前後における申請者の合格率の変化について伺います。
あわせて、大阪府における外国人運転者による交通事故件数についても伺います。

A いわゆる外免切替が厳格化され、住民票の写しの提出を求めるなど住所確認が徹底されたことにより、ホテル等の一時滞在先の住所では手続ができなくなりました。
また、知識確認は従来の「10問中7問以上正解」から「50問中45問以上正解」へと基準が引き上げられ、技能確認についても審査内容が強化されています。
その結果、知識確認の通過率は95.9%から59.6%へ、技能確認は32.6%から7.1%へと大きく低下しております。
さらに、令和7年中の大阪府における外国人運転者による交通事故件数は685件で、全体の2.7%となっております。

Q 知識・技能確認の厳格化は通過率からも明らかですが、住所確認については、マンションの一室を複数の外国人が利用し、居住実態のないまま住民登録を行うなどの不正も個人的に懸念されます。そこで、大阪府警察として、こうした不正申請への対策についてどのように取り組んでいるのか伺います。

A 外免切替における住所確認は慎重に審査しており、不審点がある場合は公共料金の領収書や賃貸契約書の提出を求めるなど、引き続き適正な運用に努めてまいります。

意見 日本の運転免許証は国際的な信頼性が高く、取得を希望する外国人も多いと考えられます。
そのため、外国免許切替手続における不正取得を防ぐためにも、警察と自治体等が連携し、適正な申請の徹底を図っていただくよう要望します。

若者の地域における防災活動についてお伺いします。

Q 防災活動の担い手の高齢化が進む中、若い世代の参画促進は重要です。
大阪府でも防災イベントやセミナーに取り組まれていますが、依然として若者の参加は十分とは言えません。他市で若者の参加を促す好事例も見られます。
そこで、こうした事例も踏まえ、若者が防災活動に参加しやすい環境づくりなど、今後どのような取組を進めていくのか伺います。

A 若い世代の防災参加には、まず関心と意識の向上が重要と考え、高校での出前授業や大学での講義などに取り組んでいます。
一方で参加が少ない現状を踏まえ、来年度は大阪公立大学と連携し、学生との意見交換やアンケートを通じてニーズ把握を進めます。
その結果を踏まえ、セミナーの充実を図るとともに、証明書発行の取組なども参考にしながら、若者の防災活動への参加促進に取り組んでまいります。

令和8年度 大阪府当初予算には こんな事業費が盛り込まれています!!

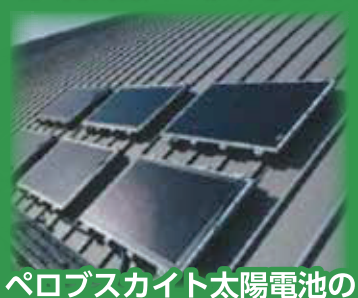
●全学年で完全無償化!!

高等学校等の授業料無償化 **751.4億円**

大阪公立大学等の授業料・入学料無償化 **43.3億円**

2026年度・対象 高校1～3年生　大学1～4年生　大学院1・2年生

●万博のレガシーを活かした さらなる成長へ



ペロブスカイト太陽電池の開発・実証・普及促進 **3.9億円**

空飛ぶクルマのビジネス化 **3億円**

ミャクミャク モニュメント等の巡回展示 **5,900万円**

●中小企業支援パッケージ

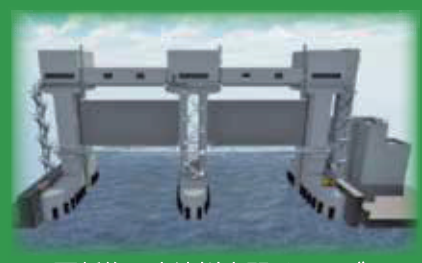
賃上げ促進 補助金など **580.9億円**

〈補助イメージ〉

国：3／4　府：1／4 → 府独自上乗せ分でさらなる賃上げを促す

補助対象経費

三大水門の更新 **20億円**



更新後の木津川水門イメージ

ミナミのゴミ箱を視察する吉村知事

オーバーツーリズム対策 **10億円**

ごみ処理や清掃等を担う市町村への支援

自動運転バスの実証実験 **3.7億円**

介護事業者が現場の生産性を向上させるため、万博で披露された「人間洗濯機」等の新たなテクノロジーの導入を支援

介護テクノロジー導入支援 **19.4億円**

こども誰でも通園制度の実施 **1.8億円**

内装リニューアルによる学習環境の改善 **8.4億円**

内装リニューアル実施教室

下水道管路の更新・補修等 **16.9億円**

先端技術による水道管路の更新

子ども食堂への支援 **4.7億円**

食品セットを配付

都市緑化を活用した猛暑対策の推進

大阪国際空港

1.5億円

特殊詐欺被害防止対策の推進

2,350万円